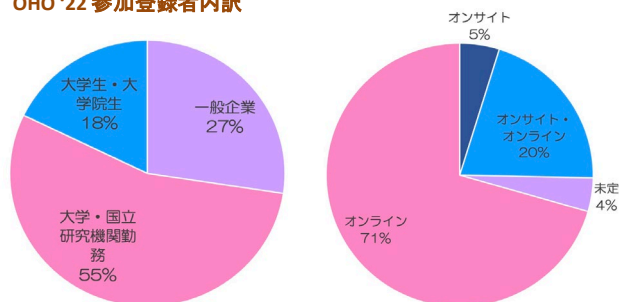


高エネルギー加速器セミナーOHO' 22開催報告

9月6日～9日、高エネルギー加速器研究機構において第39回高エネルギー加速器セミナーOHO' 22が開催されました。企画・運営を担当された高エネルギー加速器研究機構・加速器研究施設の増澤美佳教授にお話を伺いました。

高エネルギー加速器セミナーは、若手研究者の育成と皆様の加速器科学への理解を深めることを目的として1984年以来毎年開催されてきました。今年は9/6から9/9までの4日間に渡って「超伝導電磁石技術」をテーマにzoomと対面を併用したハイブリッド形式で開催しました。会場となったKEKつくばキャンパス3号館セミナーホールではCOVID-19感染症対策ガイドライン及びKEK安全衛生推進室の指示に従ってアルコール消毒、検温、換気を徹底して行いました。参加登録者数は約150人で、その内訳は図にありますように55%が大学・国立研究機関関係者、18%が学部・大学院生、27%が一般企業からの参加でした。昨年と比較すると一般企業からの参加者が10%程増えております。申し込み時点におけるオンライン参加希望者は71%、オンサイト希望者は5%、併用希望者は20%でした。昨年は感染拡大を受けて見送った施設見学ですが、今年はずくばキャンパスとJ-PARC東海キャンパスの二つのコースを設けて再開しました。またOHOセミナーシリーズの名物である夜話も復活させ、長年に渡り超伝導空洞・電磁石技術に貢献された山本明KEK名誉教授にご講演頂きました。

OHO' 22 参加登録者内訳



講義風景・集合写真



プログラムでは超伝導の基礎と応用、線材開発、冷凍機技術等、超伝導電磁石技術に関連する分野を広くカバーしました。精鋭若手・中堅講師陣、そして超伝導技術分野で様々な受賞歴のある重鎮講師陣によるテキストは、教科書や資料集として今後も活用できるような素晴らしいものになりました。4日間の授業を通してクールな講師陣の超伝導技術に対する熱い思いが会場やzoom画面を通じて皆様に上手く伝わったのであれば幸いです。

セミナー後のアンケートでは、COVID-19終息後にもオンライン形式での参加オプションのあるハイブリッド開催を希望する、という声がありました。講義内容につきましては「講義の内容が少し難しくついていけないところがあったけれども、最先端の話を開けたりしたのでとても貴重な体験でした」というようなポジティブなご意見を頂いた一方で、「一講義あたり50分と長かったのもう少し短くするか導入の部分を長くしてくれると聞きやすいなと思いました」という意見もありました。見学に参加された方からは「半日の施設見学では時間が足りない」、特に移動に時間がかかる東海キャンパスの見学の場合には、「丸一日を見学に当てて欲しい」というご意見が寄せられました。この他にも講義内容やテキスト、運営についてコメントを多々頂いております。

開催期間中に体調不良を訴える方をささずは無事セミナーを終了することができましたことは感染防止対策にご協力いただきました参加者の皆様、関係者の皆様のご努力によるものです。改めて皆様に感謝申し上げます。

OHO' 22のプログラム、講義資料、テキストについては以下のリンクよりご覧頂けます。

<https://conference-indico.kek.jp/event/175/>

KEKつくばキャンパス・J-PARC施設見学



開催日	2022年9月6日(火)～9日(金)
場所	Zoom によるオンラインとオンサイトを併用したハイブリッド形式での開催
主催・共催	高エネルギー加速器研究機構 総合研究大学院大学、公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会
参加人数	146名 (内 大学院生 22名、学部生 4名)

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。

<http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel. 029-853-4028 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp